

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	厚木東高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科
-----	---------	------------------	--------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、令和6年度の再編・統合を見据えた教育課程の改善に取り組み、教育活動の充実を図る。生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自ら考え行動し、自らを高める生徒を育成することをめざし、知・徳・体の調和のとれた教育活動に取り組んできた。また、生徒一人ひとりが高い目標を持ち、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組んできた。

今後、再編・統合にあたっては、学科併置の特性をいかし、多様な科目の配置による、より専門的な学びに向けた生徒の意識向上や、就職等に向けた職業教育など、幅広い学びの実現を図る。

2 学校教育目標

- 主体的に学習に取り組む姿勢を育成し、学習習慣を確立する。
- 全ての学びの土台となる読解力をはじめとする基礎学力を充実させるとともに、思考力・判断力・表現力、ならびに課題発見能力や課題解決能力の伸長を図る。
- 一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、自己の個性を理解し可能性を肯定的に捉え、キャリア探究活動を通して各自が自ら設定した高い目標を目指して、全ての生徒が第1志望に沿った進路実現を達成できるように支援する。
- あらゆる教育活動で生徒の主体性の伸長を目指し、生徒主体の教育実践を通して、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と、周囲の人と互いに認め合える望ましい社会性を育む。
- より一層、安全で安心な教育環境を実現する。
- 地域等との協働による防災教育の推進をはじめ、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

3 計画策定時点での課題

- 生徒の家庭における平均学習時間が1・2年生ともに1時間未満であり、主体的に学ぶ意欲や学習習慣に課題がある。Google ClassroomなどICTの活用により現状を打開したいが、双方のICT環境がまだ十分には整っていない。
- 欠席が多い生徒や悩みを抱えている生徒への組織的な対応がまだ不十分である。
- キャリア教育実践プログラムにより、きめ細かい指導を進めているが、高大接続改革によって変わりつつある新しい入試についての情報がまだ足りない。総合型選抜（AO）や学校推薦型選抜（指定校等）などの研究を進める必要があり、個々の生徒のより高いレベルでのキャリア探究に活かせるようにすることが課題である。
- 生徒会行事等の生徒の諸活動が、真に生徒による主体的な活動には至っていない。
- 校舎の老朽化が目立つ。生徒が安全安心に、また快適に学校生活をおくれるよう、さらに新校の教室配置等も展望しつつ、教育環境をさらに整備する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の主体的に学ぶ意欲を引き出し確かな学力を育みながら、新たな学力の育成や評価についても研究を進める。</p> <p>②2022年度生から実施される新指導要領と、新校統合再編への移行期に向けてカリキュラムの研究・編成を進める。</p>	<p>①R P D C Aサイクルにより各種データを用いて経年の成果を検証しながら、組織的な授業改善・授業研究を推進する。</p> <p>②「カリキュラム検討委員会」が中心となり、新校のカリキュラムをも見据えながら、新教育課程の完成と改善に取り組む。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動や生徒会行事等における生徒主体の協働的、創造的な活動を通して豊かな人間性と望ましい社会性を育む。</p> <p>②個々の生徒に応じた組織的な支援体制を確立し、互いに認め合い高め合える安全安心な学校環境を整える。</p>	<p>①生徒からの自発的な提案を引き出し、その達成を支援することにより、個々の自己肯定感を高め挑戦マインドを醸成する。</p> <p>②担任から学年会へ情報共有を迅速に行うとともにケース会議や外部機関につなぐなど、有効な支援を適時に組織的に行う。</p>
3	進路指導・支援	<p>①3年間を通じた体系的なキャリア教育により、早期から将来を展望した自己理解、キャリア学習を深めさせる。</p> <p>②一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、各種進路探究活動をきめ細やかに支援し、全生徒の第1志望達成を目指す。</p>	<p>①新入試に対応するための教員の進路指導力や面談力を高めることで、キャリア教育実践プログラムのさらなる充実を図る。</p> <p>②各種説明会や、進路通信、面談により最新の情報提供に努めると同時に、生徒の主体的な進路情報探究力を高め、適切な目標を設定できるよう支援する。</p>
4	地域等との協働	<p>①王子自治会や、厚木商業高校と協働して防災教育を推進し、防災体制の確立と改善に努める。</p> <p>②P & E厚木東コミュニティスクール等を活用して地域の求める学校像を把握し、学校創りや地域貢献活動等に活かす。</p>	<p>①生徒の防災委員を中心に王子地区防災訓練（避難所開設訓練）に参加し、生徒が学校防災教育や地域の防災活動推進の一翼を担えるようにする。</p> <p>②地域等で行われる行事やボランティア活動等の情報を生徒に提供し、その積極的な参加を促す。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安全安心、また快適に過ごせるよう教育環境の整備を進める。また、新校再編に向けて、教室や諸設備の活用計画を進める。</p> <p>②時代の要請に応じた教育のICT環境の整備を推進し、業務の効率化を図る。</p>	<p>①生徒の整美委員と協働して施設・設備の老朽箇所、危険箇所等を把握し、生徒の意見を取り入れながらより良い教育環境づくりを推進する。</p> <p>②優れた実践を共有する仕組みを構築し、働き方改革にも資するようにする。</p>

